

ひびばい 市議会だより

令和2年11月1日

53号

発行 美唄市議会
編集 市議会広報委員会



草刈の集合写真

第3回定例会（9月1日～18日）

☆一般会計決算実質収支

2億242万8千円の黒字

☆令和二年度一般会計補正予算

7億243万4千円

令和2年第3回定例会では、市長からの市政報告として、「新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応」として、消防ではアイソレーター装置の配備や市立美唄病院におけるPCR検査の実施に向けた取組みを行うこと、経済対策として、がんばろう美唄応援券の発行、子育て支援給付金の拡充について、報告がありました。

議案については、条例改正案件2件、単行案件2件、補正予算案件3件、決算認定案件10件、報告案件3件、人事案件1件が上程されました。

9月4日、7日の2日間で9人が市長並びに教育長に質問を行いました。

補正予算については、予算審査特別委員会、主に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用した「新しい生活様式」を踏まえた地域経済の活性化等への対応を図るとして、予算総

額5億7,838万3千円を

審議しました。内容は、交流拠点施設や地域福祉会館への事業継続支援、新生児を抱える世帯への支援、議会のライブ配信や、各公共施設のトイレの洋式化と洗浄機能の導入、また子育て支援センターや保育施設の水道蛇口の取替え、衛生環境の改善、交流拠点施設と総合福祉センターにサーマルカメラを設置などとなっております。

決算認定の件については、決算審査特別委員会において4日間審議を行いました。本会議最終日には、意見書3件が可決されました。

◆◆主な内容◆◆

- ◆ 一般質問
- ◆ 各委員会報告
- ◆ 定例会審査議案
- ◆ お知らせ
- ◆ 市議会の動き
- ◆ 編集後記

市議会だより

一般質問

9名では一般質問を行いました。本日は本問・答の要約を掲載しています。

令和議員会

川上 美樹 議員



答 総務部、公平委員会、消防本部で相談窓口を設置している。全職員を対象とした集合研修も実施。今後も防止に向けた措置について、適切に対応する。

問 6月1日から、パワーハラスメント防止法（労働施策総合推進法の改正）が施行され、地方公務員も対象となる。（中小企業は令和4年から施行）パワーハラとは、職場などでの、地位の優位性を利用して精神的・身体的苦痛を与え、職場環境を悪化させる行為をいう。精神的に安定した職場は仕事のパフォーマンスを上げるといわれている。庁内でのパワーハラ対策と今後の取組みはどうか。

東明公園、アルテピアッツァも繋げ、整備し、市内外から人が来て貰えるよう維持管理すべきでは。

答 東明駅舎、SLはインターネットで呼びかけ資金を集め整備を進めたい。また炭鉱遺産と他施設とも合わせ人が集まる場所の整備に努めたい。

みずほ議員会

松山 教宗 議員



問 安田侃美術館アルテピアッツァ美唄の施設や周辺・景観環境整備など旧栄幼稚園舎の利活用について。

答（教育長）周辺景観保全について、これから「特定用途制限地域」の指定によりホテル等のうち周辺環境に影響がある施設の建築規制等が進められる。NPOから周辺環境保全の様々な提案を受けているので各種計画や制度など関係部局と連携を図り今後と

も協議して行く。旧栄幼稚園は木造校舎や自然環境豊かな芸術空間を活かした利活用について「旧栄幼稚園利活用検討委員会」を設置し今後利活用に向けた検討を行うこととしている。更にNPOと連携しアンケート調査を行い、美術館の価値や魅力について積極的に情報発信をするなど市民意識醸成に向け取組を進めて行く。

問 アルテピアッツァ美唄、ピジョン（計画）の進捗状況と課題、今後の在り方について。

答 課題は、今後海外観光客の増加や道道美唄富良野線の開通による来訪者の増加が予想されるほか、施設の経年劣化対応、野外彫刻の損傷など様々な課題がある。美術館については旧栄小学校校舎と体育館の点検調査を実施している。今年度の調査結果により今後の保全の在り方など協議して行く。また第7期総合計画は現在策定中でビジョンとの整合性について進捗をみながらNPOと必要な見直しについて協議を進め、周辺景観においてもNPOや担当部

市民交流クラブ

伊藤 真久 議員



○新型コロナウイルス感染症について。

問 市内経済対策として、①市内経済の把握状況、②市内経済の回復・再生のための施策について伺う。

答 ①「美唄市産業連携会議」を設置し、6月のアンケートで91%の事業者が「企業活動に影響がある」と回答している。8月中旬以降は市内製造業12社の企業訪問を行った。②商工会議所等と連携し、必要となる経済支援対策を切れ目なく講じる。

市議会だより

問 解雇・離職のあった市民への支援策について。①解雇・離職の実態調査と把握状況、②支援策について伺う。

答 ①6月において市内2社が一部解雇。9月より4000事業者に対し市独自の労働基本調査を行い、市内の雇用・就労状況等の実態把握を行う。

②解雇・離職のあった市民の生活再建に向け、切れ目ない支援に繋げていく。

問 市内経済対策および解雇・離職のあった市民への支援策について。市内の様々な事業者を訪問し、事業者の声を聞くべき。アンケートと企業訪問のどちらも活用し、実態把握と今後の施策に繋げるべきと考えるが市の考えを伺う。

答 労働基本調査、更なる企業訪問を行い実態把握に努める。今後とも、必要となる経済支援対策を切れ目なく講じる。

問 他、新型コロナとインフルエンザの同時流行に備えた医療体制整備等について伺った。

答 民間施設は対象としていないが、活用については関係団体と十分な議論が必要と認識している。

問 地域医療について、①市民委員会の意見だけでなく多くの方の意見は伺わないのか、②過疎債や交付金等のあるは有るのか、③いつ頃オープンするののか、今後のスケジュールは。

答 ①地域懇談会や各種市民委員会、地域医療特別委員会の議論を踏まえ年度末までに成案化したい。②更に厳しい状況、国の財源対策や財源確保に最大限努めて行きたい。

③令和3年基本設計、医師会や市民と合意形成を図り策定し、任期内に実施設計を行いたい。

問 医師や看護師、少子高齢化で確保できるのか、スケジュールの質問は過去と変わらないが。

答 医師会や市民の皆様と合意形成を図り、『治し支える医療』『地域完結型医療』を実現する建替え計画にしたい。

問 自衛官の定年退職年齢は五十歳半ばであり、一般の会社員等と比べると五歳は若年での退職となるが、今後市において、自衛隊退職者の採用予定はあるのか伺う。

答 市においては、美唄駐屯地の援護センターと連携しながら、会計年度任用職員任用規定に基づき、現在八名の自衛隊退職者を採用しており、自衛官の持つ技術や資格などを生かし、防災業務や就労支援相談業務、介護業務など、様々な業務に従事いただいております。

無会派

山崎 一広 議員



問 旧美工跡地の住宅について、平屋も建設予定と言われているが、市民も職員も混乱しているが。

答 昨年実施したアンケートを基に、入居者の意向を十分確認し、本市のあるべき公営住宅の建替えに向け検討を重ねて行きたい。

問 スエヒロやコア美唄の活用、特にスエヒロは公設民営で検討は、又、コアは市民会館や図書館として活用してはどうか、空き店舗や銀行も検討してはどうか。

答 民間施設は対象としていないが、活用については関係団体と十分な議論が必要と認識している。

問 地域医療について、①市民委員会の意見だけでなく多くの方の意見は伺わないのか、②過疎債や交付金等のあるは有るのか、③いつ頃オープンするののか、今後のスケジュールは。

市民交流クラブ

齋藤久美夫 議員



問 自衛官の定年退職年齢は五十歳半ばであり、一般の会社員等と比べると五歳は若年での退職となるが、今後市において、自衛隊退職者の採用予定はあるのか伺う。

答 市においては、美唄駐屯地の援護センターと連携しながら、会計年度任用職員任用規定に基づき、現在八名の自衛隊退職者を採用しており、自衛官の持つ技術や資格などを生かし、防災業務や就労支援相談業務、介護業務など、様々な業務に従事いただいております。

問 現在市において、介護員などの専門職を中心に人材が不足していることなどを踏まえ、自衛隊退職者の状況を見ながら、必要な人材の確保に努めて参りたいと考えております。

答 地域防災マネージャー制度の活用について、本市においても防災の専門性を有する人材を確保することによる、市民の防災意識の向上や関係機関との連絡調整を密にして、市民の安全・安心のために積極的に地域防災マネージャーの確保が必要ではないか、市長の考えを伺う。

問 地域防災マネージャー制度の活用について、本市においても防災の専門性を有する人材を確保することによる、市民の防災意識の向上や関係機関との連絡調整を密にして、市民の安全・安心のために積極的に地域防災マネージャーの確保が必要ではないか、市長の考えを伺う。

令和議員会

楠 徹也 議員



問 農業行政について
問 新型コロナウイルス感染症に係る農産物の影響を受けた作物の状況と支援策について。

市 議 会 だ よ り

答 アスパラガスについては、市場価格が若干下がったものの、出荷額に大きな影響はなかった。ハスカップは作業労賃などに影響があった。花きは、3月から4月の1か月間出荷を休む影響があったが、5月から回復している。支援策については、8月末現在のびばい経営支援金の活用状況については、6件の経営体に支援してきた。

問 スマート農業の取組状況について、拡大する経営面積を効率的に営農していくには、ICTを活用していくことが、必要不可欠だが、スマート農業をどのように推進してきたのか。

答 昨年11月にICT農業推進協議会を設立し、今まで4回の協議会を開催し、調査研究や情報収集、勉強会を実施し、本年6月に農林水産省の補助事業である「次世代につながる営農体系確立支援事業」の採択を受け防除作業の比較検証や技術実演会、展示会を8月18日に美唄市で初めて実施した。

○保育行政について

問 保育所の現状について、現在の待機児童数と潜在待機児童について。

答 待機児童については、現在1人もいないが、ピパの子保育園では4人が潜在待機児童となっている。

その他の質問
○スマート農業の普及拡大について

○保育所入所の特例について

無党派

本郷 幸治 議員



問 これから秋にかけて季節性インフルエンザと新型コロナウイルスインフルス感染症の同時流行が懸念されている。疾病の鑑別が難しい状況で市立美唄病院としてはどのように対応していくのか。

答 一般患者さんと発熱患者さんとの動線を分けるため、旧MRI棟を改修した臨時発熱外来を9月上旬に開設することとしており、その運用としましては、待合室内部をパーティションで仕切るほか、ウイルス除去を目的としたフィルターの設置や診察ごとの室内消毒など、専門医の指導に基づいた院内感染防止策について、徹底を図っているところであります。また、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の疑いのある方がPCR検査を行える体制を準備するとともに、同時に鑑別診断ができる簡易検査キットの導入など必要な整備を行うこととしております。また、現在慢性疾患を持つ患者さんの受診控えが社会問題化しております。通院しないことで感染リスクは減るものの、持病が悪化するケースがあると報告されています。本所としては、民間医療機関との役割分担を行うことで、対応してまいります。

その他、小中学校でのコロナ対策については、「市民との協働のまちづくり」市立美唄病院の建替えに関連した近隣氏への通院バスの検討状況について質問しました。

市民交流クラブ

山上他美夫 議員



問 美唄市に都市機能として重要な会議室、宴会場などのコンベンション機能を担っているホテルスエヒロが一時的な休館をしているが、何時再開するか、このまま廃業するのか、多くの市民が再開に関心を寄せている。市としてホテルスエヒロの再開に向けた話し合いはしているのか、ホテルスエヒロのホテル部門経営は厳しいと思うが、再開が難しい時は経営支援などを考えているのか伺う。

答 市としても経営者と情報交換をし、商工会議所も再開の要請をしており、経営者からはコロナの終息で需要が回復した時には再開したいとの意向を伺っている。

本市にとってホテルスエヒロは必要な施設であるが、市

は公共施設としての利用は考えていない。

今後も経営者や商工会議所等と十分に意見交換を重ね再開に向けた協議を進める。

問 近年空き家空き地が増え20年後は空き家も倍増し住環境がさらに荒廃する。空き家空き地の担当部署が別々だが、統合して専門部署とする政策が必要である。

今後の人口減少と高齢化社会は、住民が極力街の中心地域に住居を構え、行政負担の軽減を進め行政サービスの維持に努めるべきだ。

国交省は『全国版空き家空き地バンク』をネット上に開設して、全国市町村自治体はそこで情報発信しているが、空き家空き地に流動性が生まれる事は建設・設備工事の増加にも繋がり、経済が活性化するとするが、市が専門の担当部署の設置を行い、積極的に情報発信をする政策が必要と考える。

答 空き家空き地については、担当部署による横断的な協力体制で、必要な対応しており、専門部署の設置は考えていな

い。

「全国版空き家・空き地バンク」の活用を検討や、庁内連携を強化し、官民一体で、情報収集と情報発信に努める。

無党派

紫藤 政則 議員



○市立美唄病院建替え建設単価の抑制策について

問 自治体病院の建設単価は、公的病院や民間病院に比し、とても高いとのデータがある。ローコストで質の高い病院をつくるために「CM方式」などの一貫したマネジメントと業者選定について認識を問う。
答 前の計画で示した単価は1m当り45万7千円と見込んでいた。CM（コンストラクション・マネジメント）方式は、計画立案、設計監理、工事の発注から引き渡しまでの各段階でマネジメントし、建設費

の削減や品質改善に取り組むものであり、従来の方式に比べ無駄を省き、総工費を削減し、工期の短縮が期待できると言われている。

問 建設工事の契約方法について、新たな発想で行うことにはどう考えるか。

答 価格のみでなく、施行技術や地域貢献の提案、市民意見の反映などができる「市民参加型総合評価方式」や受注者が蓄積したノウハウを活用し、コスト低減と品質向上を図ることができる「デザイン・ビルド方式」などがある。多様な契約方法について検討したい。

問 病院建設は、先の市長選挙で争点になった。多額の建設事業費にクレームが出た。新しいモデルケースをつくる気持で取り組むべきだ。

答 建設費の削減、品質の向上が大切な。様々な面から検討し、総合的な事業費の削減を図り、可能な限り早期着工に向け取り組んでいきたい。

委員会報告

常任委員会と特別委員会等での質疑応答と論議の内容

《総務・文教委員会》

委員長 楠 徹也

副委員長 谷村 知重

68号 美唄市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更の件

問 過疎法の今後の見通しはどうか。

答 過疎法については、来年3月の期限となっているが現行の過疎地域については、全国過疎地域自立促進連盟北海道支部を通して、新たな過疎法においても、引き続き対象とするよう、要請をしている。

67号 質疑無し

用可能となるのか、また、市内の状況はどうなっているのか。

答 多機能端末を設置しているコンビニエンスストアであれば全国各地でも利用可能となっており、市内においては、セブンイレブン・ローソン・セーコーマートで利用可能となるが、多機能端末が設置されていないハマナスクラブについては利用できないと承知している。

70号 質疑無し

69号 質疑無し

事の施工にあたっては、地元業者等が施工可能な部分については出来るだけ地元で出来るようNTTに対して要望していく。

問 「行政情報化運用事業」について、マイナンバーカードの交付枚数について、美唄市内での実績は。

答 8月末現在の発行枚数は、3,706枚となっている。

問 「地域福祉会館管理運営事業」について地域福祉会館への委託料追加分として支払われる一律10万円の根拠は。

答 各福祉会館に対して、収入状況等を報告いただいたところ、平均して昨年度より65パーセント程度減少している状況であったことから、現在の1館あたり約20万円程度の指定管理料の半額に相当する額として10万円とした。

問 「総合福祉センター管理運営事業」について赤外線サーモグラフィーを設置することにより発熱者を発見した場合の対応と、納品日、設置場所は。

答 発熱者を発見した場合、自宅待機か病院へ行くよう助

市議会だより

(5)

言することとしている。また、今回導入予定の機器については、既存の機器のため納入に時間がかからない。なお、設置場所は玄関を予定している。

問 「空知団地管理事業」について空知団地用地として機



空知団地 (元NEDO施設)

問 「交流拠点施設管理事業」についてサーモグラフィーの

導入について、今回の補正予算では本庁舎や教育委員会が所管している施設では一つも提案されていないが、導入についての今後の考えについて。

のトイレ利用について、スキー場のレストハウスは夏場閉鎖している状況ではあるが、来

また、毎日大勢の職員、不特定多数の人が出入りしている本庁舎の安全対策については検討していないのか。

期以降は施設を管理している都市整備部と十分協議をしながら検討していく。また食堂

答 これまで、一部の施設に限りサーモグラフィーの導入を進めてきたが、今後も本庁舎などの公共施設全般について、どのような対策が必要なのか再度全庁的に議論をしていくとともに、本庁舎を含めた施設の管理マニュアルなども見直していきたい。



国設スキー場レストハウス

問 「美唄市国設スキー場管理運営事業」について美唄市

72・73号 質疑なし
71・73号 原案可決
《決算審査特別委員会》
委員長 桜井 龍雄
副委員長 齋藤久美夫
認定第1号 令和元年度美唄市一般会計 決算認定の件

議会費・総務費

問 「移住・定住促進事業」について、企画費の不要額が生じた理由と、移住・定住に

答 不要額が生じた理由としては、移住・定住の申請者数が、当初見込んでいた予定数に達しなかった事が理由である。また、今後においては、

問 「へき地保育所管理運営事業」について、ピパの子保育園や認定こども園ひまわりと、へき地保育所の保育の内容について違いがあるのか。

答 ピパの子保育園や認定こども園ひまわりにおいては、通常の運動を通じた保育の他に、運動支援事業としてサッカー教室や体育教室を、年に

問 合同墓の建設にあたって

都市整備部に設計を依頼したとのことであるが、公募型のプロポーザル方式は検討しなかったのか。

答 今回計画している合同墓の建設については、合同墓本体の建立のみと考えていることから、合同墓を中心とした広がりまでを提案するようなプロポーザル方式までは考えていない。なお、今後合同墓の管理やお骨の収納方式等の決定については、他市の状況を参考にしながら市民説明会等を経て決定していく。

問 「地元就職等 応援事業」について、美唄尚栄高校卒業生の進路状況と、地元への就職者の状況について。

答 卒業生52名のうち進学は21名、就職が31名となっており、31名のうち、地元へ就労した方は9名となっている。

市議会だより

(7)



道立美唄尚栄高校

問 「農道離着陸場管理運営事業」について、飛行機利用で、農業利用が1件となっているが、具体的に何をしていたのか、またイベント利用の8件の内容について。

答 農業利用については、防風林に、野ネズミ駆除の殺鼠剤を撒くことに使っており、

イベントの利用についてはよさこい演舞の練習が4回、写真撮影会が1回、映画上映会が1回、農業機械等の走行テスト2回となっている。

商工費・土木費

問 「中心市街地 元気創出事業」について、今年度からコア美唄の中に新しいスペースが出来ているが、その運営母体と、目的、またどのような形で設置されたのか。

答 運営については、美唄市内に点在するクリエイターが連携した、美唄デザイン室に業務委託しており、統一ブランドのデザイン、ブランディングによる付加価値の向上を目指し、にぎわい創出スペースの空間デザイン、イートインスペース及びセレクトショップの企画運営、ワークシヨップの開催等、中心市街地の活性化を図ることを目的としている。

問 「公営住宅建替事業」について、市営住宅の建て替えについては、1日でも早い建て替えが必要であるが、その考え方について。

答 公営住宅の建て替えは、

皆さんが待ち望んでいるものであり、これからの高齢化を考えると、まち中に必要なものと考えていることから、十分協議をしてまいりたい。

消防費・教育費

問 「救急業務推進事業」について救急出動の件数とその搬送先について。

答 市救急出動で、管内に搬送した件数は、市立美唄病院が438件、北海道せき損センターが100件、しろした病院が2件、花田病院が33件、その他で6件となっている。管外については、砂川市立病院が303件、岩見沢市立病院が91件、北海道中央労災病院が33件、その他が50件で、合計1,056件を救急搬送している。

問 「総合体育館整備事業」について、総合体育館の床については、近年凹凸が目立ち、また、ささくれもあることから安全面に問題があると思うが、今後の整備計画は持っているのか。

答 総合体育館の床については、建築から30年以上たっており、ささくれ等がないよう

に、確認作業を実施し、床の補強、小修繕を繰り返している。今後も、利用者の安全面を十分に考慮しながら、引き続き保守・点検を行っていく。



総合体育館

歳入全般

問 「美唄ハイテクセンター貸付金収入」について、この貸付金は、単年度で貸して、単年度で入ってくる短期の貸付けであり、現在のような転がしの貸し付けが続いていくことは、長期貸付金と同じであると考えているが、今後の貸付金の考え方について。

答 ハイテクセンターにおいては、貸付を行うことにより、経営の安定化と、主要事業で

ある貸付オフィス事業の推進が図られるとともに、空知団地への企業誘致についても、ハイテクセンターが担っていることから、当面は短期貸付による、経営改善支援を継続することとしている。

認定第3号 令和元年度美唄市国民健康保険会計 決算認定の件

問 短期証・資格証交付世帯における受診状況と、一般被保険者証世帯の受診状況はどうなっているのか。

答 資格証は、令和元年度の実績で、年間14件。受診率は12.84パーセント、一人あたり年間平均で0.12回の受診となっている。また、一般被保険者証の方は、令和元年度で年間80,440件。受診率は1,677.61パーセント、一人あたり年間平均で16回受診となっている。

なお、短期証の対象者については、一般被保険者証と負担割合が同じであるため、現在は算出ができていない。

認定第6号 令和元年度美唄市介護サービス事業会計 決算認定の件

市議会だより

問 恵風園・恵祥園の介護職員の補充状況について、どのような対策を行い、何か対応を考えているのか。

答 令和元年度において、各新聞社に職員募集のチラシを7,325部折り込んだところ、2名から応募があり、その2名についてはパートタイム職員として採用したところであるが、今現在フルタイム職員の問い合わせ等は、一切ない状況である。職員の採用にあたっては、給料や処遇の改善が求められていることから、検討組織を立ち上げ検討しているところである。



恵風園・恵祥園

認定第8号 令和元年度市立美唄病院 事業会計決算認定の件

問 病院の建て替え計画が中断し、新たな基本計画策定に向けて取り組んでいる中で、現在の病院は老朽化が進んでいるが、そのような状況の中で、現場の医療従事者のモチベーションは保たれているのか。

答 新病院建設が延期された事により、モチベーションの低下や医療サービスの低下を招かないよう、病院長を中心に、スタッフ一同で取り組んでいる。また、患者様にも早く綺麗な療養環境が届けられよう、基本計画策定に向けたヒアリングや議論に積極的に参加している。

認定第9号 令和元年度美唄市水道事業会計決算認定の件

問 市内に埋設されている水道管のうち、法定耐用年数40年を経過している水道管の割合と今後の整備方針について。

答 年市内の水道管のうち、導水管0%、送水管2.2%、排水管9.3%が、埋設後40年を経過しているところであるが、実使用年数は管の材質等にもよるが、40年から80年程度となっている。しかしな

がら、水道管は市民生活に欠かせない重要なライフラインであることから、現在策定中のアセットマネジメント計画に基づき、効率的かつ効果的に管理・更新を行っていきたい。

総括質疑

問 予算執行の行政効果を明確にするために、決算書の事業の実施状況について、現在は、成果のみの記載となっているが、予定量も明示するものとはならないか。

答 事務事業の実施状況については、ひとめで予定量と成果を検証できることから、まちづくり基本条例の趣旨を十分に踏まえながら、可能なかぎり明示できるように検討していきたい。

認定第2号、4号、5号、7号、10号及び書面審査

認定第1号〜10号 質疑無し 原案可決

議会の動き

8月 28日 議会運営委員会

9月

1日 議会運営委員会 本会議 開会

4日 議会運営委員会 一般質問

7日 一般質問

8日 総務・文教委員会 産業・厚生委員会

9日 予算審査特別委員会

10日 決算審査特別委員会

11日 決算審査特別委員会

14日 議会運営委員会

15日 決算審査特別委員会

18日 議会運営委員会

23日 本会議 閉会

23日 広報委員会

30日 広報委員会

5日 広報委員会

お知らせ

本議会、委員会は傍聴できます。その際、電子機器などの取り扱いにご配慮願います。次回定例会は12月上旬に予定しております。詳しくは事務局(63-0141)にお問い合わせください。

編集後記

本市の人口は9月末現在で約2万6200人。高齢化率は43%を越え、来年度、または再来年度には2万人を割るとも言われております。

2万人を割らない、また割っても「まち」が維持できるよう未来を見据えた短期的な行政施策を進めると共に、現実的な中・長期的な施策の立案と実行力が今必要であり、急務であると考えます。

新型コロナウイルス感染症は未だ止むことなく、今秋のインフルエンザなどによる発熱の混同が危惧される中、市立病院では発熱外来など、様々な対応準備が進められております。

ここに昨年度決算認定と新型コロナウイルス感染症対策などを主とした今定例会の議会だよりをお届けします。ご一読よろしくお願い致します。

- 委員長 楠 徹也 (た)
副委員長 松山 教宗
川上 美樹
伊藤 真久